

新年度も創意工夫凝らした多彩な活動を推進

産業懇談会を紹介する連載最終回は第4火曜と第4金曜グループの世話人の方が、創意工夫を凝らしたグループの活動や運営を披露し、各グループの特徴や魅力を説明する。コロナ収束にはなお時間を要す見通しの中、新年度も多彩な活動に意欲満々だ。

第4火曜グループ

まとまり良く、和気あいあいと楽しい会 経済と離れた講演が「気付き」の機会に

■設立：1987年2月 ■メンバー数：48人

世話人



内田 士郎

SAPジャパン
取締役会長

石井 茂

ソニーグループ
社友

内永 ゆか子

NPO法人J-Win
理事長

第4火曜グループは和気あいあいとしてまとまりが良く、楽しい会です。メンバーがネットワークを広げることにつながっています。私自身が2009年に入会した際、産業懇談会と創発の会で他の会員の皆さまと知り合いになりました。その経験を踏まえて、「敷居の低い会」を標榜しています。

講師の方のお話を聞くだけでなく実際に知り合いになることで、ネットワークの起点になるようにとの思いで運営しています。ですから緊急事態宣言下を除いて、できるだけリアルで会合を続けてきました。

新入会の方には自己紹介も兼ねて必ず一度はお話しいただいています。ただ、会の運営で努めているのは、ビジネスパーソンが集まっているので、ビジネスと少し離れた「飛び地」の話で、皆さまの気付きやイノベーションのきっかけにさせていただきたいということです。アーティストや陶芸家、画家、小説家、社会活動家らご登壇いただいた皆さまのお話は非常に素晴らしく、メンバーも感銘を受けています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大で非常に迷いましたが、去年は会員所属企業が運営している大企業の新規事業部とスタートアップ、アカデミアが共創する都内のイノベーションスペースを見学し、イノベーションを生み出す力とはどのようなものかを体験いただきました。今後も経済同友会ならではのネットワークを活用した見学会を年1回は開きたいと考えています。

4火に気楽な気持ちで参加し、普段得られない気付きをお持ち帰りいただきたいと思っています。【内田 士郎】

第4金曜グループ

コロナ禍に負けずアクティブに活動 ダイバーシティに富んだメンバー構成

■設立：1974年11月 ■メンバー数：86人

世話人



稲野 和利

野村ホールディングス
顧問

宇治 則孝

第一三共/横河電機
社外取締役

秋田 正紀

松屋
取締役社長執行役員

第4金曜グループはメンバーが86人と2番目に大きく、年齢は40歳代から80歳代まで、女性も10人、外国人の方も3人などダイバーシティに富んでいます。また、定例会以外にも有志による懇親会やゴルフ会、施設見学会など多彩で非常にアクティブな活動をしているのが特徴であり、魅力でもあると思います。

メンバー企業のヤマト運輸の物流センター「羽田クロノゲート」やANAの総合訓練施設「ANA Blue Base」見学会は、大変印象的なイベントになりました。過去にはメンバーの方のお骨折りで、「長浜で鴨を味わう会」「小諸のワイナリー見学」なども行いました。こうしたさまざまな会合を通じてコミュニケーションが一層深まり、親しくなります。

コロナ禍の下、さまざまな活動を続けるべく、会場の選択やオンライン活用など工夫しました。

講演では例年1月に新年の経済展望を専門家から伺うようにしています。テーマ選定は企業経営、スポーツ、文化、ITなど分野が重複しないよう気を配っています。講師は外部の方とメンバーが6対4程度ですね。

過去には書家の紫舟さんや武田双雲さん、西洋料理家の三國清三さんらのお話も大変興味深かったです。最近ではメンバーの斉藤惇プロ野球コミッショナーからコロナ禍におけるプロ野球の取り組みやリスクマネジメントについてお話を伺いました。4月にはオリンピックの元陸上選手、為末大さんのご講演を予定しました。楽しく元気な4金会にぜひ、ご参加ください。

【宇治 則孝】